

プロジェクトリーダー:瀬戸市立図書館

事業実績調書

(1) プロジェクト名	高校生読書活動推進プロジェクト
(2) プロジェクトの成果 (※そのような成果が得られたかについて具体的に記載)	本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定していた主だった活動が実施できず、次年度へスケジュールを延期する変更承認申請をし、承認を得た。
(3) プロジェクト実施内容 (※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	<p>令和2年 4月 5月に第1回プロジェクトメンバー打ち合わせを予定していたが、社会状況を鑑み、メール打ち合わせとすることを決定。プロジェクト参加大学の、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休学等の状況を確認。</p> <p>令和2年 6月 学生運営委員会を組織し、オンライン会議等で啓発グッズの作成等を進めることができないかを検討。新型コロナウイルス感染拡大防止のため各大学ではキャンパスへの登校を制限しているほか、クラブ活動等も中止しており、委員募集は困難であることを確認。</p> <p>令和2年 7月 プロジェクト参加大学の状況に6月から変化が無いことを確認。</p> <p>令和2年 8月 7月から状況に変化が無いことを確認し、プロジェクトの延期を決定。</p> <p>令和2年11月1日 コロナ禍で実施された同様の大会である「高校生ビブリオバトル愛知県大会2020」を視察 〈会場〉愛知県図書館 〈参加者〉プロジェクトメンバー1名</p> <p>令和3年1月13日 プロジェクトメンバー打ち合わせ 〈開催方法〉オンライン (zoom) 〈参加者〉プロジェクトメンバー7名</p> <p>令和3年2月17日 2020年度「大学コンソーシアムせと」活動成果報告会 〈会場〉瀬戸蔵 多目的ホール 〈参加者〉プロジェクトメンバー1名</p>
(4) プロジェクトの今後の課題と展望	次年度もコロナ禍が続くことを想定し、感染予防を徹底した取り組み方法を柔軟に検討しながら、プロジェクトを実施していく。具体的には、学生運営委員の会議をオンラインで行うことや、ビブリオバトルの開催方法を対面開催と併せてオンラインでも実施していくこと等を検討している。